

(別紙⑤)

佐野会場「市有施設適正配置計画」について(7/11)

佐野地区担当 金子 保利

第3回佐野市議会報告会の佐野会場を担当いたします金子です。

今回の報告会では、佐野市が合併以来、行政課題であります「佐野市市有施設適正配置計画」について、ご報告致します。

この計画は施設の最適化の実現に向け、統廃合・複合化などの再編や長寿命化といった保全のあり方を示し行動に繋げていくためのものでございます。本計画は、平成28年に市有施設のあり方に関する基本方針が示され、平成30年3月に策定されました。

平成26年3月31日時点で、本市が保有する施設は404施設、総延床面積は、約487,852㎡に及びます。そのうち、建築後30年を経過したものが半数を超えており、人口規模が類似した自治体と比較して、重複する施設を多く保有している状況にあります。

現在、保有する全ての施設を同じ規模で更新すると仮定した場合、更新費用の総額は、今後40年間で約2,195億円、年間では約55億円と試算されております。

こうした状況のもと、少子高齢化の進展による社会保障費の増大や税収の減少により、全ての施設を現在のまま維持することは非常に困難になっております。

一方で、人口減少社会の到来により市民の人口構造が変化することで、市有施設に対する需要も大きく変化することが予想され、市有施設が果たす機能と役割を勘案し、行政サービスのあり方を見直していくことも必要になって参ります。ゆえに今後は市有施設の再編や保全について前期・中期・後期の3つの期間ごとに縮減目標を定め、その進捗について毎年度公表をしていくものです。前期計画期間では縮減目標面積を58,000㎡(約11.8%)と設定し、地域住民の方々とは合意形成を得ながら、適正な施設配置の実現に努めていくこととなります。

佐野地区においては、保有する施設は404施設の内「199施設」、延床面積では487,852㎡の内「約290,796㎡」となっております。また、建築後30年を経過したものは205施設の内「96施設」となっており、更新費用の点では今後40年間で2195億円の内「約1293億円」と試算されております。

このように佐野地区においては、施設数、延床面積、建築後30年を経過した施設数や更新費用の点等からみても全体の約1/2を占めております。

今後、市有施設の適正配置の実現に当たっては、市民の皆様のご協力とご理解が不可欠であることから、5月21日の佐野地区を始めとして、7月31日の氷室地区まで20ヶ所で地区別説明会を行っております。

更に、各地区にとって利用しやすく、使い勝手の良い施設のあり方を検討するとともに地区の活力に繋がる施設配置を実現するため10月から懇談の場を設け、意見交換会が予定されております。

皆様にお配り致しました資料には、「佐野地区別の市有施設適正配置計画」の施設評価結果が掲載されております。この資料を参考に身近な施設の利活用のため、前向きな意見を示すことが適正配置に繋がることとなりますので、是非ご参加を頂きたいと思っております。以上、佐野会場の報告と致します。

市有施設適正配置計画について

◆ 施設評価結果 A：廃止・譲渡 B：統合・複合化 C：改修/更新・現状維持

・佐野地区（41施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
図書館	2032	中期	C
郷土博物館	2033	中期	C
大橋町西部集会所	1998	前期	B
大橋町東部集会所	1999	前期	B
佐野市中央公民館・観光物産会館	2044	後期	C
まちなか活性化ビル	2025	前期	C
佐野共同高等産業技術学校	2006	前期	C
佐野駅前交流プラザ ぱるぼーと	2048	後期	C
佐野小学校	2016	前期	C
天明小学校	2015	前期	C
城東中学校	2026	前期	C
城東中学校第2グラウンド管理棟	2030	中期	C
西中学校	2025	前期	C
南部学校給食センター	2043	後期	C
伊勢山保育園	2034	前期	C
大橋保育園	2015	前期	A
中央こどもクラブ	2028	中期	C
大橋シルバーワークプラザ	2026	中期	B
保健センター	2032	中期	C
水道庁舎	2023	前期	C
消防機械器具置場（高砂町1-1）	2019	前期	C
消防機械器具置場（金屋仲町3-1）	2019	前期	C
消防機械器具置場（大蔵町2-1）	2022	前期	C
都市整備課書庫	2036	前期	C
佐野駅自由通路	2051	後期	C
大橋書庫	2008	前期	A
佐野市市民活動センター	2033	中期	C
元男女共同参画推進センター	2014	前期	A
佐野駅南再開発住宅	2035	中期	C
大橋市営住宅	2024	前期	C
南大橋市営住宅	2031	中期	C
駅南公園	2051	後期	C
孫太郎公園	2015	前期	C
城山公園	2039	前期	C
西部中央公園	2028	前期	C
西部大橋公園	2031	中期	C
佐野駅前自転車駐車場	2028	中期	C
元伊勢山保育園	1973	前期	A
元市営大橋町プール	2002	前期	A
元第2学校給食センター	2011	前期	A
大橋浄水場	2019	前期	C

・植野地区（28施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
植野地区公民館・コミュニティセンター	2033	中期	C
若宮球場	2014	前期	C
渡良瀬川緑地	不明	前期	C
植野小学校	2018	前期	C
元船津川小学校	2033	前期	B
南中学校	2027	前期	C
赤坂保育園	2028	前期	A
若宮保育園	2009	前期	A
南児童館	2031	中期	C
第2植野こどもクラブ	2031	中期	C
元赤坂デイサービスセンター	2028	前期	A
元植野デイサービスセンター	2031	前期	C
元障がい者南福祉の家	1987	前期	A
佐野市隣保館	2032	中期	C
消防機械器具置場（七軒町4-1）	2020	前期	C
消防機械器具置場（寺中町4-2）	2033	中期	C
消防機械器具置場（植下町4-3）	2025	前期	C
消防機械器具置場（伊保内町5-3）	2025	前期	C
消防機械器具置場（大古屋町5-4）	2027	前期	C
消防機械器具置場（田島町5-1）	2023	前期	C
消防機械器具置場（船津川町5-2）	2023	前期	C
消防機械器具置場（飯田町9-3）	2023	前期	C
西部赤坂公園	2032	中期	C
寺中公園	2031	中期	C
馬場公園	2020	前期	C
若宮公園	2014	前期	C
元上台町共同住宅	1974	前期	A
飯田地区水処理センター	2031	中期	C

・界地区（18施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
界地区公民館	2037	中期	C
界小学校	2022	前期	C
高萩保育園	2006	前期	A
元界こどもクラブ	1973	前期	A
茂呂山老人福祉センター	2024	前期	C
消防機械器具置場（馬門町9-1）	2026	前期	C
消防機械器具置場（高山町9-5）	2028	中期	C
消防機械器具置場（高萩町9-2）	2031	中期	C
消防機械器具置場（越名町9-4）	2033	中期	C
高萩市営住宅	2035	中期	C
新都市第1公園	2033	中期	C
新都市第2公園	2033	中期	C

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
新都市第3公園	2033	中期	C
高萩南部第1公園	2045	後期	C
高萩南部第2公園	2045	後期	C
高萩南部第3公園	2045	後期	C
北茂呂公園	2044	後期	C
佐野新都市バスターミナル	2030	中期	A

・犬伏地区（37施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
文化会館	2026	前期	C
犬伏地区公民館	2038	後期	C
栄公園球場	2027	前期	C
佐野市勤労者会館	2024	前期	C
佐野市万葉自然公園 かのりの里管理センター	2013	前期	C
唐沢山公衆トイレ	2034	中期	C
みかも山観光物産会館	2024	前期	A
犬伏小学校	2016	前期	C
犬伏東小学校	2026	前期	C
北中学校	2021	前期	C
元米山保育園	2003	前期	A
東児童館	2032	中期	C
犬伏東こどもクラブ	2007	前期	C
犬伏デイサービスセンター	2033	中期	A
元佐野市消防本部・消防署	2024	前期	A
消防機械器具置場（犬伏下町6-1）	2018	前期	C
消防機械器具置場（富士町6-2）	2032	中期	C
消防機械器具置場（鍛塚町6-3）	2020	前期	C
消防機械器具置場（黒袴町6-4）	2043	後期	C
みかもクリーンセンター	2036	中期	C
みかもクリーンセンター余熱利用施設	2046	後期	C
元人材育成センター	2014	前期	A
元新都市埋蔵文化財発掘調査事務所	2031	前期	A
市有バス車庫	2011	前期	C
都市整備課詰所及び倉庫	2051	後期	B
車庫（伊勢山町）	2006	前期	C
浅沼市営住宅	2030	中期	C
米山南市営住宅	2028	前期	C
米山市営住宅	2038	中期	C
米山公園	2031	中期	C
町谷中央公園	2033	中期	C
犬伏第1地区東公園	不明	前期	C
梅林公園	2034	前期	C
観音山公園	2034	前期	C
富岡第1公園	2033	中期	C
犬伏第1地区西公園	2030	中期	C
伊勢山中継ポンプ場	2017	前期	C

◆ 施設評価結果 A：廃止・譲渡 B：統合・複合化 C：改修/更新・現状維持

・堀米地区（28施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
城北地区公民館	2036	中期	C
佐野武道館	2038	中期	B
城北小学校	2031	中期	C
堀米保育園	2010	前期	A
佐野市こどもの国	2046	後期	C
第1・第2城北こどもクラブ	2020	前期	C
田之入老人福祉センター	2019	前期	C
元障がい者福祉の家	2014	前期	A
消防機械器具置場（堀米町7-1）	2026	前期	C
消防機械器具置場（堀米町7-2）	2034	中期	C
消防機械器具置場（奈良洲町7-3）	2047	後期	C
堀米市営住宅	2032	中期	C
奈良洲市営住宅	2024	前期	C
秋山川堀米緑地（一部）	不明	前期	C
菊川第2公園	2046	後期	C
堀米駅北公園	2035	中期	C
菊川第1公園	2032	中期	C
菊川第4公園	2014	前期	C
朱雀中央公園	2045	後期	C
朱雀西公園	2032	中期	C
朱雀北公園	2036	中期	C
朱雀東公園	2025	前期	C
奈良洲第1公園	2042	後期	C
田之入公園	2039	後期	C
元第1学校給食センター	不明	前期	A
堀米配水場	2055	後期	C
菊川浄水場	2026	前期	C
奈良洲浄水場	2019	前期	A

・旗川地区（10施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
旗川地区公民館・コミュニティセンター	2037	中期	C
並木町田中集会所	2004	前期	B
免鳥町集会所	2003	前期	B
旗川小学校	2018	前期	C
消防機械器具置場（並木町8-1）	2028	中期	C
消防機械器具置場（免鳥町8-3）	2022	前期	C
消防機械器具置場（小中町8-2）	2029	中期	C
こなか人丸公園	2045	後期	C
元佐野市立自動車学校	1996	前期	A
並木地区水処理センター	2031	中期	C

・吾妻地区（12施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
吾妻地区公民館・コミュニティセンター	2034	中期	C
吾妻小学校	2027	前期	C
元吾妻中学校	2025	前期	C
あづま保育園	2034	中期	C
元吾妻こどもクラブ	不明	前期	A
消防機械器具置場（村上町10-1）	2025	前期	C
消防機械器具置場（下羽田町10-3）	2029	中期	C
消防機械器具置場（高橋町10-2）	2030	中期	C
羽田公園	2028	中期	C
元村上保育園	1992	前期	A
上羽田浄水場	2030	前期	A
佐野西部地区水処理センター	2037	中期	C

・赤見地区（25施設）

施設名	耐用年数 終了年度	計画 期間	方向性 グループ
赤見地区公民館・コミュニティセンター	2032	中期	C
赤見町山崎集会所	2002	前期	C
市民体育館	2022	前期	C
赤見小学校	2023	中期	B
石塚小学校	2022	中期	B
出流原小学校	2025	中期	B
赤見中学校	2031	中期	B
赤見城保育園	2009	前期	A
石塚保育園	2007	前期	A
西児童館	2034	中期	C
石塚デイサービスセンター	2035	中期	A
佐野市消防署西分署	2031	中期	C
消防機械器具置場（赤見町11-1）	2024	前期	C
消防機械器具置場（赤見町11-2）	2031	前期	C
消防機械器具置場（赤見町11-3）	2030	中期	C
消防機械器具置場（石塚町12-1）	2028	中期	C
消防機械器具置場（出流原町12-2）	2032	中期	C
消防機械器具置場（寺久保町12-3）	2016	前期	C
石塚市営住宅	2014	前期	C
松原公園	2031	中期	C
旗川石塚緑地	2036	前期	C
磯山公園	2032	中期	C
元石塚団地下水処理場	2024	前期	A
市の沢浄水場	2030	前期	B
石塚浄水場	2029	前期	B

私の方からは、佐野地区の子育て支援策について報告させていただきます。

安心して子育てできる環境を整える事は、子育て世代が安心して定住できることであり少子化時代を克服するという点からも重要であり、その必要性から多くの議員が議会質問で取り上げ、様々な施策の充実を市当局に求めてきました。特に佐野市はこどもの街宣言をしておりますので、市当局、そして議会としてもその趣旨からも探求していく課題と考えます。

市では毎年「子育て情報誌」を出していきまして、子育て支援策の全体像が一目でわかるようにまとめています。(これがそれです)

子育て支援の中心は、待たずに入ることができる保育所、働いているために昼間保護者が家庭にいない小学生を対象とした放課後子どもクラブ(いわゆる学童保育)です。

その他、本市ではきめの細かい施策をおこなっています。妊産婦健康診査14回分の費用を一部公費で負担したりすることや、第3子の誕生に合わせ10万円を支給する子宝祝い金、これは合併前の旧田沼の施策を引き継いだものです。そして子ども医療費は中学3年生まで窓口無料をおこなっています。

ひとり親家庭には児童扶養手当や遺児手当など、また障がいをもつお子さんのため障がい児福祉手当、そして短期入所、デイサービス、日中一時支援事業等、様々な福祉サービスがあります。また相談機関もあります。

また、乳幼児を連れての方が気軽に外出できるように、おむつ替えや授乳のために立ち寄れる赤ちゃんの駅が、佐野市全体で公共施設で25か所、民間施設で27か所設置されています。

そして子どもの貧困が社会問題になっている中、どの子も安心して学校に行けるようにと就学援助制度の充実、こども食堂や居場所づくりの問題も大きな課題になっています。

こども食堂は子どもの貧困が社会問題になっている中、子どもたちの居場所づくりと合わせて、子どもが1人で入れて食事を無料で食べられる場所です。現在民間で月1度ですが、市内2か所でおこなわれ少しずつではありますが広がりをみせています。

本日は、特に保育所の問題、そしてこの間充実が図られてきている放課後子どもクラブについて報告させていただきます。

保育園の問題については、老朽化した保育園を随時建て替えるための第2次佐野市保育所整備運営方針があります。このことにより佐野地区の保育所についていえば今後とも様変わりしていくという事が出来ます。佐野地区には現在公立保育所が9か所、私立保育所が3か所、小規模保育所が10か所、認定こ

ども園が6か所あります。今後について整備計画では公立保育園の統合等の計画があります。一時保育、夜間保育、延長保育や障がいがあるお子さんのための健やか保育、病後児保育等、体調不良児対象事業等、多様な支援が求められ実施しています。安心して預けられ、待たずに入れる保育上の整備が求められています。

また「放課後こどもクラブ」についてですが、いわゆる「学童保育」で、本市では、独自の呼び方で「放課後こどもクラブ」と呼んでいます。

学校終了後に子どもたちが利用する場所で、昼間労働などにより保護者が家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を与えて情緒を豊かにし、集団生活をとおして社会性と自主性を培う事により児童の健全育成を図る事業です。

全国的に子どもたちが様々な事件に巻き込まれる事例があることから、この間国でも力を入れてきている事業です。

今までは小学校3年生までが対象でありましたが、国としても6年生まで受け入れることになり、5年間のうちに整備することとされました。

これらの事から早急な基盤整備を行って必要なお子さんが利用できるようにする必要が出てきました。

本市ではすべての小学校区でこのクラブの設置を目指して取り組んできています。

平成30年度には市全体で公立34クラブ(27小学校のうち19小学校区)を開設しています。また民間でも12か所でおこなっています。(別紙参照)

平日の受け入れは公立と民間では開設時間に若干の違いがあります。公立では午後6時までとなっておりもう少し延長できないかなどの意見もあります。民間では午後7時までとなっています。そして民間では送り迎えも行っています。

夏休みや、冬休み、そして春休み等は、公立では、朝8時から午後6時まで、民間では朝7時半ごろから午後7時や8時までも行っています。

働くお母さんたちが増えてきている要因もあってか、一小学校区に3か所、4か所と増やしてきていますが、基盤整備が間に合わないほど利用者が増えてきている所もあります。

以上放課後こどもクラブを中心に報告させていただきましたが、若い世代の人たちが安心して子育てができる佐野市を目指して、今後とも議会として様々な提案をしていきたいと考えています。

以上で報告を終わります。

# 佐野地区における子育て支援策について

## 保育所整備計画

具体的な佐野市の保育施設については、次のとおり計画します。

### 保育施設状況及び整備計画表

区分	園名	定員	建築年月	経過年数	整備方針	定員	目標年度		
							公募・計画	施設建設	開園
公立 保育所	堀米	120	昭和52年3月 (1977)	41年	民営	—	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	①平成32年度 (2020)
	吉水	70	昭和51年3月 (1976)	42年	統合 ↓ 民営	—	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	②平成34年度 (2022)
	石塚	90	昭和49年3月 (1974)	44年					
	赤見城	90	昭和50年4月 (1975)	43年					
	大橋	120	昭和57年3月 (1982)	36年	建替え	120	平成31年度 (2019)～ 平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)
	赤坂	100	平成7年3月 (1995)	23年	民営	—	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)	③平成35年度 (2023)
	伊勢山	100	昭和63年3月 (1988)	30年	(閉園)	(100)	今後の園児数の変動により 閉園時期を検討		
	ときわ	80	平成17年2月 (2005)	13年	(閉園)	(80)			
	くずう	120	平成16年3月 (2004)	14年		120			
	たぬま	120	平成20年3月 (2008)	10年		120			
	あづま	110	平成25年3月 (2013)	5年		110			
	よねやま	90	平成27年3月 (2015)	3年		90			
	あさぬま	126	平成30年3月 (2018)	0年		126			
			1,336				866		
	新合	60	昭和54年3月 (1979)	39年	閉園	—	平成29(2017)年度末閉園		
区分	園名	定員	建築年月	経過年数	整備方針	定員	目標年度		
私立 保育所	飛駒	50	昭和45年8月 (1970)	47年		50			
	救世軍佐野	110	昭和60年3月 (1985)	32年		110			
	風の子	90	平成8年2月 (1996)	21年		90			
	大栗	90	平成16年4月 (2004)	13年		90			
	民間					80	平成31(2019)年度開園予定		
	民間					90	①平成32(2020)年度開園予定		
	民間					90	②平成34(2022)年度開園予定		
	民間					90	③平成35(2023)年度開園予定		
		340				690			

区分	園名	開設年月日	定員	備考
認定 こども 園	認定こども園あかみ幼稚園	平成19(2007)年4月	90	
	認定こども園メイプルキッズ	平成22(2010)年4月	60	
	認定こども園こぼと	平成24(2012)年4月	100	
	認定こども園育成館幼稚園	平成25(2013)年4月	80	平成30(2018)年4月 10名の定員増
	洗心幼稚園認定こども園	平成27(2015)年4月	70	
	認定こども園犬伏幼稚園	平成29(2017)年4月	69	
	認定こども園佐野たちばな幼稚園	平成30(2018)年4月	80	
	認定こども園明星幼稚園	平成30(2018)年4月	66	
			615	
区分	園名	開設年月日	定員	備考
小規模 保育事 業所	ちびっこランド	平成27(2015)年4月	19	
	ひよりキッズホーム	平成27(2015)年4月	19	
	ミミイ保育園	平成27(2015)年4月	19	
	はなな保育園(ひまわりハウス)	平成27(2015)年8月	19	
	あいおい保育園	平成29(2017)年4月	12	
	北総警保育センター	平成29(2017)年4月	19	
	ニチイキッズ	平成29(2017)年4月	19	
	クローバー保育園	平成29(2017)年4月	17	
	はなな保育園(たんぼぼハウス)	平成29(2017)年5月	19	
	あそぬま城くるみ保育園	平成30(2018)年4月	17	
	はなな保育園(すみれハウス)	平成30(2018)年4月	19	
	こどものまち保育園	平成30(2018)年4月	19	
			217	

資料：佐野市保育課〔平成30(2018)年4月見込み〕

### 計画の進行管理

本計画の進捗状況については、佐野市のホームページやパンフレット「佐野市のほいく」に実施状況を公表します。

なお、保育施設の必要量については、上位計画となる事業計画における教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保方策において進行管理がされており、今後、国による保育制度の見直しや社会経済情勢等により保育施設の整備など需給関係については、事業計画において検討していくものとします。

## 国道 50 号沿線開発構想の策定について

### ○国道 50 号線の概要

国道 50 号線は前橋市から水戸市まで 161.5 km です。佐野市内ですと西は渡良瀬大橋から東は佐野藤岡インター東まで走行距離は 8,840m です。工事期間は昭和 42 年～48 年で、平成 5 年に全線 4 車線化しました。平成 21 年には佐野新都市交差点から佐野藤岡インターまでの約 600m を 6 車線化しました。

### ○周辺開発の状況

周辺開発の状況については沿線開発の経緯と周辺施設の概要をご報告いたします。佐野新都市地区については平成 5 年に旧地域振興整備公団により整備が開始され、平成 9 年には工事開始、そして大型商業施設が 2 カ所オープンし、平成 19 年 1 月には佐野新都市バスターミナルの利用が開始されました。

周辺の開発状況ですが、佐野工業団地は昭和 42 年から昭和 45 年に開発され、佐野みかも台産業団地、佐野インター産業団地、西には羽田工業団地、そして周辺の商業施設としてアグリタウンが開発されました。

### ○国道 50 号沿線開発の関連事項

渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会が平成 10 年 11 月 26 日に設立されました。目的は渡良瀬川及び利根川への架橋を含む広域幹線道路の整備促進を図るとされており、構成団体は佐野市、館林市、羽生市、板倉町、明和町となっています。活動状況としては平成 10 年度から栃木県、群馬県、埼玉県に対して要望活動を実施しており、平成 29 年 9 月には群馬県議会への請願が趣旨採択となりました。同月に埼玉県議会への請願も提出され、渡良瀬川架橋が趣旨採択となり、利根川架橋が採択となりました。栃木県議会は請願を調整中です。

### ○議会での答弁内容

平成 30 年度の予算編成にあたる市長からの予算大綱の一部を読み上げます。「新たなリーディングプロジェクトである産業文化立市は現在進めている出流原 P A 周辺開発に加えて市南部の幹線道路である国道 50 号のポテンシャルを生かすべく、新たに渡良瀬川への架橋も含めた国道 50 号沿線開発構想の策定いたします。これにより、農業、観光などによる南部地域の活性化を図るとともに、首都圏バックアップ機能としての広域幹線道路ネットワークの構築にも取り組んでまいります。」ということで市長から大綱が発表されています。国道 50 号沿線開発の推進の立案として、観光と農業の組み合わせと企業誘致、渡良瀬川架橋の実現に向けた関係機関との連携強化があります。また、佐野新都市地区、農産物集積施設フルーツ街道との連携による観光誘客の増加策も推進される予定です。

続きまして、議会での内容について抜粋してご報告いたします。

平成 30 年 2 月に予算大綱では「国道 50 号沿線開発構想について、大規模災害時の避難路線としての利用も考えるべきではないかとのお尋ねでございますが、渡良瀬川への架橋を含めました広域幹線道路の整備につきましては、首都圏広域地方計画での位置づけなども考慮いたしまして、大規模災害時の避難経路としての役割も念頭に置いております。」とあり、国道 50 号沿線開発の必要性については、「本市の高速交通網を活用した新たな人と物の流れを創出し、地域の活性化による稼ぐ力を増大する。」とあります。

総合計画の質疑では、「都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進におきまして進めてまいります。農業振興地域ということも考慮いたしまして、工業系だけではなく、農業や観光の振興なども視野に入れた構想の策定を進めてまいりたいと考えております。」とあります。

最後に、新都市地区からの人の流れの活用策や渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備を含めた開発については今お話ししたような構想を策定しているところです。あくまでも策定の一步手前ですので、皆様からのご意見、ご提案をお受けしてまいりたいと思います。

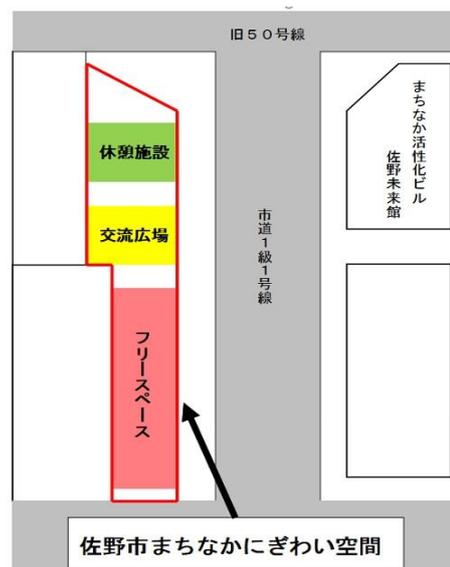
## 中心市街地（佐野駅周辺）活性化について

### ① にぎわい空間整備事業

都市計画道路3・4・201号線高砂植下線（市道1級1号線）は、平成23年度に事業化され、県道桐生岩舟線（旧50号）からNTT交差点までの110m区間を先行整備し、平成30年度3月に完成致しました。

市道の整備に合わせ、西側の側道沿いに、中心市街地において市民の憩いとふれあいの場を提供し、市民相互の交流とにぎわいの創出を図る目的で「まちなかにぎわい空間」を整備しました。

平成30年4月14日、オープニングとなる「まちなかにぎわいマルシェ」を開催し、飲食店やタワーショップ、子供の遊び場などが出店し、多くの方々に来場していただきました。また、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、災害時には本庁舎と連携して防災機能を持たせた空間として活用致します。



### ② まちなか活性化支援事業 (空き店舗活用にぎわい創出事業補助金)

空き店舗を活用し出店を希望する方に対し、改装費や家賃の補助を行う事業ですが、平成29年度の新規出店は、飲食店や小売店など5店舗の出店がありました。

平成19年度から実施している事業ですが、51店舗が活用し出店しておりますが、残念ながら15店舗が閉店したものの、現在36店舗が営業を継続しており、にぎわいの創出に貢献していただいております。

### ③ まちなか地域おこし協力隊員設置事業

三大都市圏より人材を誘致し、まちなかの地域資源の発掘やイベントの企画・立案・定住移住のための連携、情報発信など、第三者目線で新たな発想、新たな魅力を求め、まちなかの活性を考える「まちなか地域おこし協力隊員」を配置し、様々な活動を行っています。

市道1級1号線西側側道沿いに整備した「佐野市まちなかにぎわい空間」のオープニングイベントとなった「まちなかにぎわいマルシェ」は、地域おこし協力隊員が中心となり、企画・立案・準備等に奔走し、十分な成果を挙げました。また、まちなかのお店をより多くの方々に知っていただくため、「さのまちなかグルメ」のホームページを開設し、情報発信を行ったり、古民家の保全や景観の改善を行い、空き家等の利用促進を推進するための活動を実施しております。

### ④ まちなか婚活推進事業

結婚への希望をかなえるため、まちなかにおいて特色のある出会いの場を提供するとともにまちなかの活性を図る事業で、29年度の実績ですが、パーティー形式では、男性27名、女性27名の参加で6組、体験型では、男性21名、女性23名の参加で3組のカップルが成立しております。また、まちなかでの開催や、まちなか店舗や近隣商店街などの協力を得ながらの実績ですので、にぎわいの創出、まちなか活性化においては、一定の効果があったものと考えております。引き続き継続することにより、イベント化できればまちなかのにぎわい創出の一助となると考えております。

人気店のレシピで  
楽しくクッキング婚活♪

平成30年 3月4日(日) 10:30~15:00 (受付10:00~) 募集期間 平成30年 1/15(日)→2/20(日)

料理を通して  
ステキな出会い

Menu  
バイエルディ  
和風アツパスタ  
と作って  
みよう!

協力店:  
\*駅前ダイニングさら  
\*自家焙煎 有田製餅屋  
\*Boulangerie Monogatari

参加資格/20代から40代までで出会いを求める独身男女  
会場/佐野市中央公民館  
栃木県佐野市金井上町2519  
募集人数/男性20名、女性20名  
(応募多数の場合は抽選となります)  
参加費/男性4,000円、女性2,000円  
講師/片桐麻耶さん(駅前ダイニングさら)  
※エプロン・三角さんをお持ちください

参加特典  
自家焙煎  
有田製餅屋の  
スペシャル  
ブレンドコーヒー

カップル成立特典  
駅前ダイニングさら  
のペア食事券

お問い合わせ  
さのまちづくり株式会社 栃木県佐野市高砂町2794-1  
Tel. 0283-24-1015 Fax. 0283-25-8830 Mail. sanomachi@mirun.ctv.jp